

第9回 男山地域まちづくり連携協定 年次報告会

令和5年2月8日

1

男山地域まちづくり連携協定の締結

地域とともに元気な暮らしができる、住みたい、住み続けたい男山
を目指し、京都府、八幡市、関西大学、UR都市機構が連携して取組んでいこう！



平成23年 9月 関西大学団地再編プロジェクト（文部科学省戦略的研究基盤形成支援事業）開始

平成24年 4月 八幡市・京都府・関西大で戦略会議を開催 ⇒ 調査・検討・提案

平成25年 4月 UR都市機構が加わり連携協議会を開催 ⇒ 調査・検討・提案

平成25年10月 男山地域まちづくり連携協定の締結（無期限） ⇒ 調査・検討・提案・実践・検証 ⇒

平成28年 3月 文科省補助事業終了

平成26年11月 - 令和5年2月 第9回年次報告会

2

男山地域まちづくり連携協定の目的

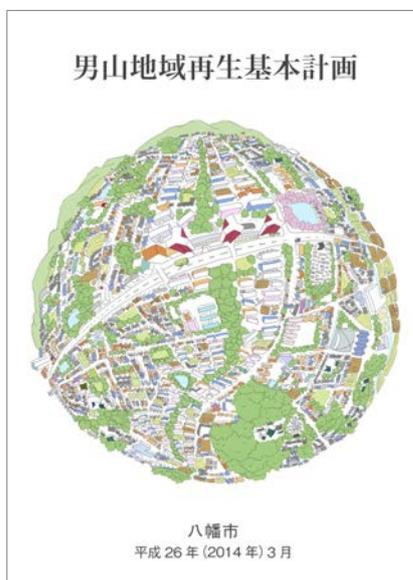
- (1) 次世代を育むまちづくりとして、子どもが豊かに育つために、地域で子育てを支えあい、ともに育ちあう、分かちあう環境づくりの導入・確立
- (2) 多世代が根を張るまちづくりとして、高齢者が住み慣れた地域で住み続けられることを目指した「地域包括ケア」の確立
- (3) 地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立
- (4) 住民が主役となるまちづくりとして、地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

3

平成26年3月 男山地域再生基本計画の策定

男山の将来目標

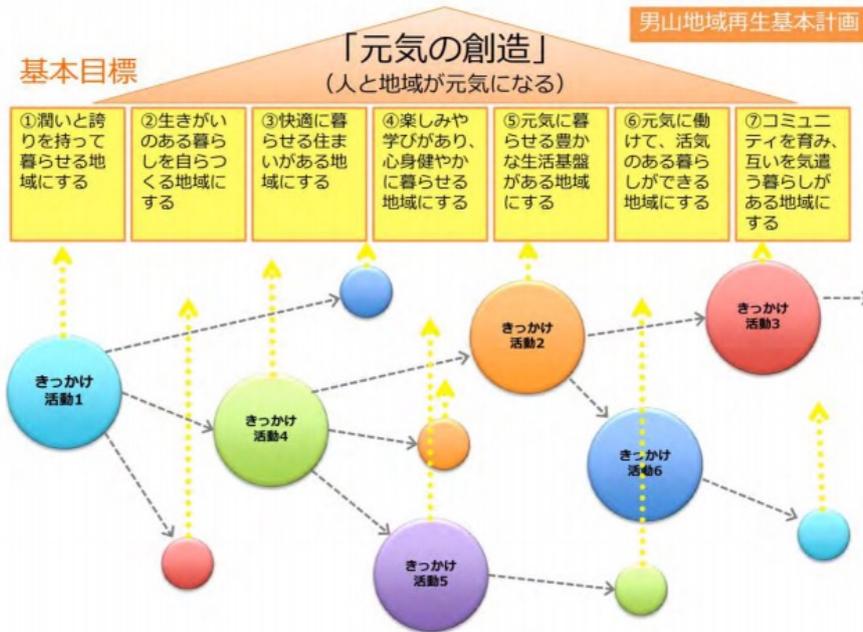
地域とともに元気な暮らしができる、
住みたい、住み続けたい男山



4

平成26年3月 男山地域再生基本計画の策定

「元気の創造」を生み出す7つの基本目標と「きっかけ活動」



現在、連携・協力事項により、具体的な取り組みである様々な「きっかけ活動」が始まり展開している。

5

子育て支援の取組み

(1)次世代を育むまちづくりとして、子どもが豊かに育つために、地域で子育てを支えあい、ともに育ちあう、分かちあう環境づくり

6

ダンチ de コソダテ の取組み

おひさまテラスの運営

開設以来、必ず誰かが訪れる地域子育て施設

新型コロナに負けず、元気に活動中！

2018年京都府子育て支援表彰受賞！

保育士やボランティアと一緒に楽しみながら子育てを楽しむ場所として運営しています。

感染予防対策をしっかりと、子どもやママにとってかけがえのない場所となるよう元気に活動中。

開設：平成26年12月1日～
場所：男山団地A地区集会所内
運営：おひさまテラスの会（地域ボランティア）
時間：月・火・金・土(第2・4)午前10時～午後4時
対象：0歳～就学前の子どもとその親
利用親子組数（令和3年度実績）：約5組/日
(延べ1,444人)

<参考>令和4年度実績：約5組/日
(延べ1,215人)
※令和4年12月末時点



7

ダンチ de コソダテ の取組み

☆ママたちもリフレッシュ！

おひさまテラスでは子供たちだけでなく、ママさん向けのイベントも開催しております。写真はピラティス教室の風景です。ママたちにとっても癒しとなる集いの場になることを心掛けています。



☆外国人のお友達も増えています

おひさまテラスの様子を見て、「わー遊んでいい？」って遊びに来てくれました。日本語を教えたり、アラビア語を教えてもらったり…たくさんの国の方が来てくれています。



8

関西大学による団地リノベーションの取組み

子育て層などの若い世代へ訴求し得るリノベーション住宅を、関西大学設計プランを主軸として、UR 男山団地に投入（H26年度より過去8回実施）＜H26～R3年度供給実績23プラン43戸＞

【写真】 関西大学設計リノベーション住戸の一例



H26 「のびやかに暮らす」



H27 「ひろく暮らす」



H28 「ロビーラウンジのある
住まい」



H29 「L字型引戸使い分ける
自由な暮らし」



H30 「自分で作っていく住まい」 R元 「縁側のある住まい」



R2 「小さく広く住む」



R3 「暮らしの中で働く住まい」

関西大学による団地リノベーションの取組み

令和4年度は新規2プランを供給

プラン①「創り住むワンルーム」

【設計コンセプト】



Before<3DK>



多様化する働き方・生活スタイルに合わせて住まい手がカスタマイズできるような住宅を目指しました。1室のままで・区切っても使えるようなスペースを設けています。

在宅ワークはもちろん創作などクリエイティブな活動も伸び伸び出来そうで、赤い壁の向こうの書斎的空間は集中したいときに、緑の壁の右側はリラックスタイムにぴったりのスペースになっています。

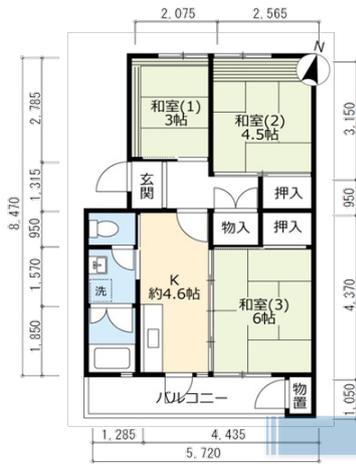


After<1R>

関西大学による団地リノベーションの取組み

プラン②「居場所を選べる住まい」

Before<3K>



【設計コンセプト】

既存プランの南北間の抜け感や北側の明るさに着目し、一部の壁を取払うなどの改良により、区切った間取りから開放的な1LDKに再生することができました。

広々リビング、落ち着く畳スペース、光差す小部屋など、忙しい毎日のなか気分に合わせて居場所が選べてくつろげます。楽に空間の行き来ができる回遊性も魅力です。



11

地域包括ケアの確立

(2)多世代が根を張るまちづくりとして、高齢者が住み慣れた地域で住み続けられることを目指した「地域包括ケア」の確立

(3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立

12

八幡市地域包括ケア複合施設YMBT

地域密着型特別養護老人ホーム 定員 29名

高齢者あんしんサポートハウス 定員 20名

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

多目的ホール

UR男山団地内において
平成27年11月1日 地域包括ケア複合施設YMBT 開設

13

地域包括ケア複合施設YMBTの役割①

多様な高齢者のニーズに対応できる施設

- ・地域での生活を24時間体制で支援(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- ・低所得者向けの高齢者居住施設(あんしんサポートハウス)
- ・地域の重度要介護者が生活する施設(地域密着型特別養護老人ホーム)



折り紙教室



実習生との交流

14

地域包括ケア複合施設YMBTの役割②

元気高齢者の参画、地域へのサービス提供の場の確保

- ・多目的ホールの活用



毎朝のラジオ体操



出前講座、地域の催し等



介護予防への取り組み

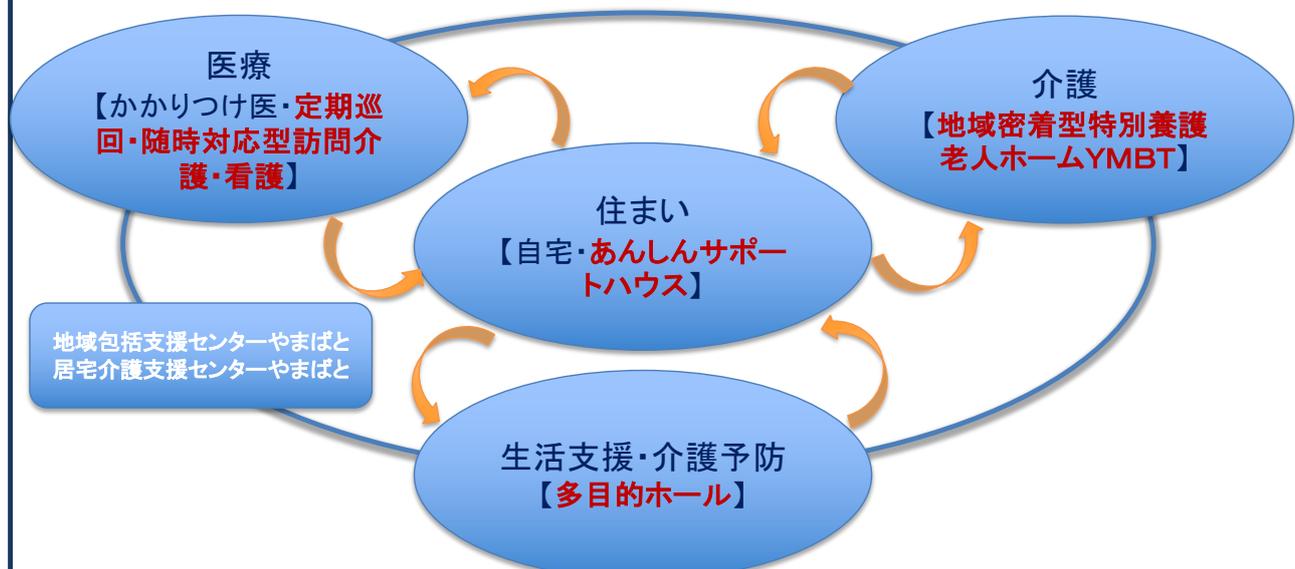
15

地域包括ケア複合施設YMBTの役割③

地域包括ケア推進拠点

- ・医療・介護・予防・住まい・生活支援のサービスを包括的に提供

地域包括ケア

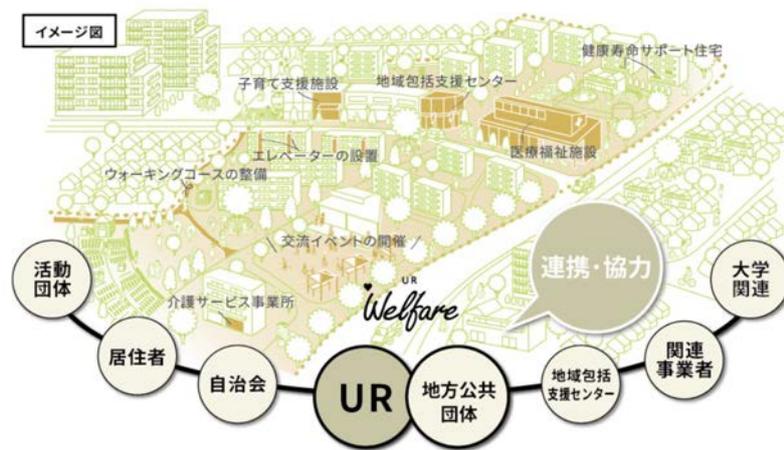


16

地域医療福祉拠点化の取組み

URの地域医療福祉拠点化の取組みは、住環境の整備や、地方公共団体、医療・介護等を担う関係団体等との連携を図ることにより、暮らしやすい団地・地域の形成、団地で最後まで住み続けられる環境整備を目指すものです。拠点化の進め方に決まった形はありません。地方公共団体、自治会等の地域関係者と連携・協力しながら、地域の状況に応じて、様々な要素の中から必要なものを組み合わせて、住宅・施設・サービス等の整備を推進していきます。

男山団地では、連携協定に基づき様々な整備が進められている中、ここでは、「健康寿命サポート住宅の供給」「生活支援アドバイザーの配置」について紹介します。



17

地域医療福祉拠点化の取組み

1 健康寿命サポート住宅の供給

手すりや浴室暖房を設置する等、高齢者の方の住戸内の安全・安心に配慮した「健康寿命サポート住宅」への改修をすすめています。平成28年度からこれまでに102戸供給しております。（R4.12月末時点）



- ・人感センサー付照明
- ・手すりの設置 など



- ・またぎ高さを低く設定
- ・浴室暖房の設置 など



- ・段差の軽減
- ・多機能便座への変更 など

18

地域医療福祉拠点化の取組み

2 生活支援アドバイザーの配置

高齢者の方が安心して暮らし続けられるよう、各種相談対応や電話によるあんしんコール、交流促進のためのイベント等を実施しています。

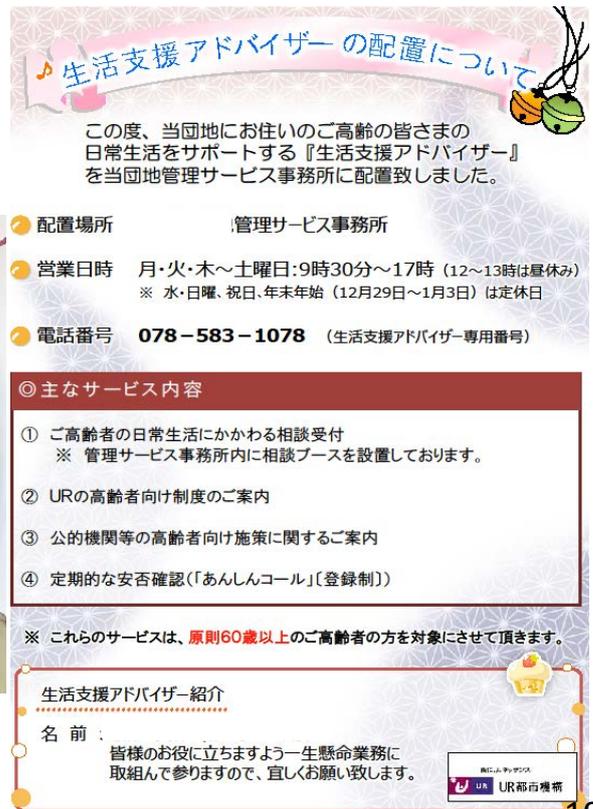


無料 男山団地 生活支援アドバイザーイベント
クリスマスツリー飾り付け
オーナメントに願いごとを書いてツリーに飾ろう！
先着10名様には、タンブラーをプレゼント！
★日時：12月22日(木)～12月24日(土)
9:00～12:00、13:00～17:00
★場所：男山団地管理サービス事務所
【お問合せ】
男山団地管理サービス事務所 075-983-5522
【担当】：生活支援アドバイザー 山本(やまもと)
【営業時間】：9:30～12:00、13:00～17:00
【定休日】：水・日・祝
感染症対策のため、お願いになる際は
マスクの着用をお願いします



R4.12月実施 団地居住者によるクリスマスツリーの飾り付け

周知案内の事例



生活支援アドバイザーの配置について

この度、当団地にお住まいの高齢の皆さまの日常生活をサポートする『生活支援アドバイザー』を当団地管理サービス事務所に配置致しました。

- ① 配置場所 管理サービス事務所
- ② 営業日時 月・火・木～土曜日：9時30分～17時（12～13時は昼休み）
※ 水・日曜、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）は定休日
- ③ 電話番号 **078-583-1078**（生活支援アドバイザー専用番号）

◎ 主なサービス内容

- ① 高齢者の日常生活にかかわる相談受付
※ 管理サービス事務所内に相談ブースを設置しております。
- ② URの高齢者向け制度のご案内
- ③ 公的機関等の高齢者向け施策に関するご案内
- ④ 定期的な安否確認（「あんしんコール」〔登録制〕）

※ これらのサービスは、原則60歳以上のご高齢者の方を対象にさせていただきます。

生活支援アドバイザー紹介

名前：
皆様のお役に立ちますよう一生懸命業務に取り組んで参りますので、宜しくお願い致します。

UR 都市機構

絆ネット事業とは

【目的】

地域の高齢者、障がい者、児童などの見守り・生活支援を進める上で、複数機関の連携による支援や公民協働での支援など、地域の様々な主体による取組を横断的に調整・推進し地域全体での新たな見守り活動を展開、地域福祉の再構築を目指す。

【実施主体】

八幡市社会福祉協議会

取組み内容

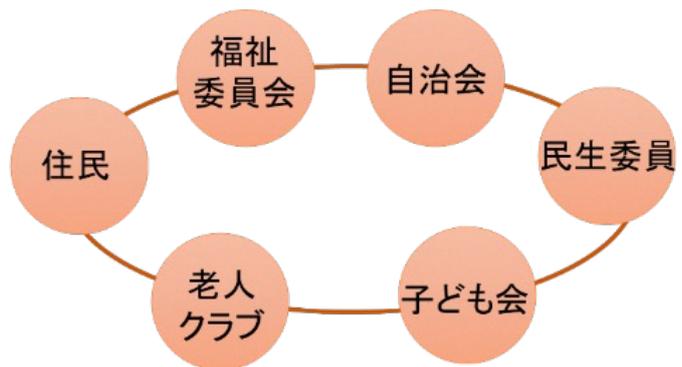
- 住民による見守り・支え合い活動の推進
- 絆ネット地域懇談会の開催

住民による見守り・支え合い活動の推進

概要

自治会、福祉委員、民生児童委員、老人クラブ等の地域団体が地域の実態共有や課題解決に向けた取組みについて協議するネットワークとして、自治会単位での地区座談会を推進している。

また地区座談会を通して、取組みに応じた組織化等の活動支援を行う。



想定される団体のイメージ図

絆ネット地域懇談会の開催

概要

地域活動者と専門職等関係機関が一同に集まり、取組みや地域課題の共有を行い、各地域での活動活性化、課題解決に向けた様々な連携促進を図ることを目的に開催します。

《主な参加団体》

各地域活動者（自治会、福祉委員会、民生児童委員、老人クラブ）
男山交番連絡協議会
八幡防犯推進委員協議会 男山支部
八幡市地域包括支援センターやまばと・美杉会
小学校・中学校（さくら・くすのき・男山第二・男山第三）
UR都市機構
生活情報センター
八幡警察署
男山地域コーディネーター（だんだんテラス）
八幡市
八幡市社会福祉協議会

絆ネット地域懇談会の開催

《第1回》

【日時】令和4年9月1日(木) 14時～16時

【場所】八幡市立 生涯学習センター ふれあいホール

【内容】テーマ:日頃の活動・暮らしから見えてくる課題・想いについて

①グループごとの意見交換

◆主な意見◆

- ・引越してきた人の情報が入ってこない
- ・コロナ感染後にどのように対処すればよいか情報がわからない
- ・本人が困っていることに気づいておらず手助けがしづらい
- ・住民のマナー・モラルの問題で外国人が話題に出るが、日本人の問題も多い。



23

絆ネット地域懇談会の開催

《第2回》

【日時】令和4年11月30日(木) 14時～16時

【場所】八幡市立 生涯学習センター ふれあいホール

【内容】テーマ:私たちの暮らしに必要な情報とは

- ①ミニ講演会(講師:龍谷大学名誉教授 加藤 博史氏)
- ②事例検討(「自分が」「隣人が」「地域として」様々な立場から考えてみる)

◆参加者の感想◆

- ・顔の見える関係でしっかり話ができてよかったです。
- ・どの出席者も日頃から、それぞれの立場で真剣になって活動していることがわかった。
- ・地区によって支援システム等が異なっており参考になった。
- ・専門職、行政、警察及び各団体と意見交換をしたい。



24

きょうと府内定着等推進事業

(3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立

25

きょうと府内定着等推進事業による支援

●趣旨

大学等が取り組む、市町村又は企業・団体と連携し、それらの課題解決のための授業や研究活動等を支援するとともに、その取組を通じて**学生等が地域や企業の魅力を深く知ることで、府内での定着等**を目指す。

●令和4年度 府内全体での取組み状況 (令和5年1月23日時点)

◇地域連携PBL **13事業**(8大学・9市町村)を選定・支援

◇企業連携PBL **9事業**(6大学・12企業・団体)を選定・支援

※PBLとは…Project Based Learning(課題解決型学習)の略称

●関西大学×八幡市(男山地域)への支援

大学が活動地域に拠点を設置、人員を配置し、年間を通じた地域活性化の取組を実施する**理想的なケース**として事業採択(平成28年から支援 ※)

※ 1まち1キャンパス事業(平成28年～令和元年度)
人・まち・キャンパス事業(令和2年～3年度)

<支援内容>

大学・学生の活動環境面をサポート

(地域コーディネート活動費用、学生・教員等の移動費用等を支援)

26

だんだんテラスの取組み

- (3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立
- (4)住民が主役となるまちづくりとして、地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

27

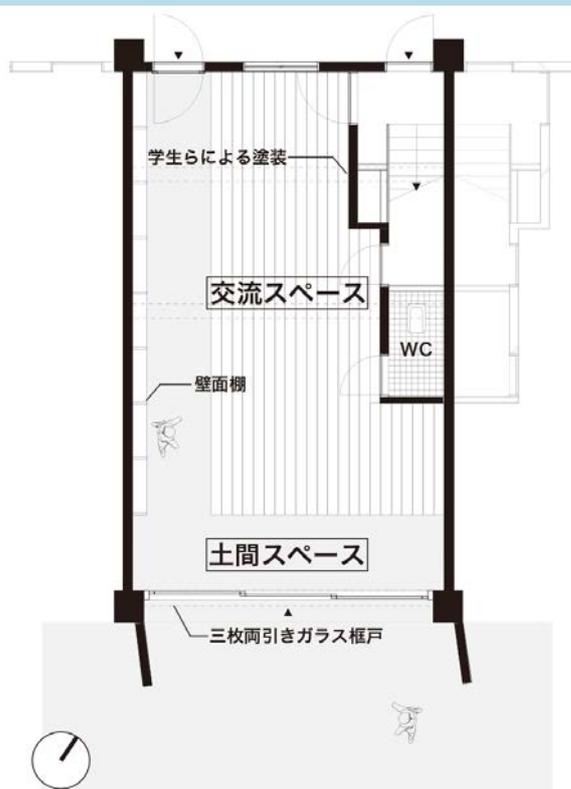
365日気軽に集まれるだんだんテラス



開設日：平成25年11月16日～

運営：だんだんテラスの会
主に大学院生が常駐

時間：年中無休（10時-18時）



住民と学生が協働で継続した運営をめざす

28

関わりつづけるをテーマとしたまちづくりの実践

だんだんテラス 平成25年開設



だんだんラボ 平成30年開設



2つの地域拠点を中心に実践的な活動を展開

H25～これまで、男山地域内に2つの地域拠点を開設。地域住民と交流を図りながら、ソフト・ハードの両面から団地、地域再生の実践活動を展開。大学、UR、八幡市、住民、大学OB・OGも継続的に関わり運営を行う。

徐々に活動の制限を緩和して活動

屋外でのラジオ体操は毎日継続



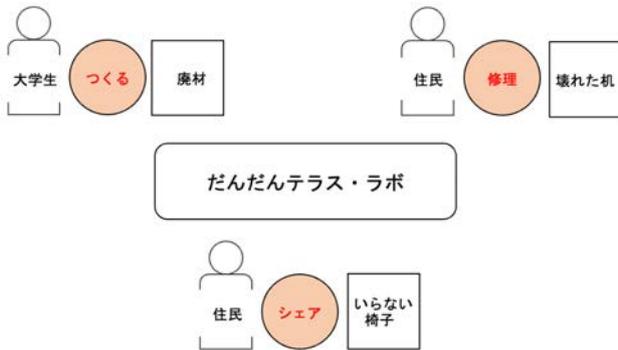
だんだんカフェの会



日常的な小規模なイベント



学生らによる不用品を活用した居場所づくり



第10回大東建託賃貸住宅コンペ 新たな賃貸スタイル部門で受賞

R4年から不用品を活用した居場所づくりを継続実施。ヒトとモノがめぐり、ヒトとモノがつながりつづける賃貸スタイルの提案が上記のコンペティションにて受賞しました。

八幡支援学校との連携した取り組み



普通科、福祉総合科3年生と 連携した授業を開催

普通科は、毎週火曜日午前中の作業実習をだんだんテラスで開催。
福祉総合科は、だんだんテラスの取り組みについて学び、地域住民が気軽に集まれるイベントを企画しました。生徒が自作した「人生ゲーム」は大盛況でした。

集会所を中心としたプレイスメイキングの実践



D地区集会所リノベーション「食」の拠点化プロジェクト

利用頻度が減少していた集会所をリノベーションし「食」をテーマとした拠点を
目指す。UR都市機構とだんだんテラスの会が協働。

33

初の「食」に関するイベントを企画中！

男山ベトナム文化交流イベント
フォー試食・販売会
～男山団地でベトナムの食文化を体験しよう！

日程 2月25日（土） 11：00～13：00

場所 男山団地D地区集会所  

集会所では、ベトナムにちなんだクイズゲーム大会
を開催しておりますので是非お立ち寄りください！

※フォーの試食・販売は先着順となっており、数に限りがありますので
ご注意ください。
※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては開催を見合わせる場合が
ございます。



男山団地D地区集会所

<当日のタイムスケジュール>
11：00～12：00 クイズゲーム大会
12：00～13：00 フォー試食・販売会

<イベントについてのお問合せ>
イベント事務局 だんだんテラスの会
MAIL：dandan.terrace@gmail.com

主催：だんだんテラスの会
協力：男山4者連携協議会（八幡市、関西大学、京都府、UR都市
機構）NPO法人介護の家コスモス男山

<リノベーションの概要>

和室をカフェキッチンへ改修！

「飲食」をテーマにした「交流活動」、
「憩いの場」など、イベントでのご利用に！

洋室を広々とした多目的ホールへ改修！

間仕切りを取り払い、「広場」を創りました。
大人数でのイベント開催も！



カフェキッチンスペース



多目的ホール

NPO法人コスモス男山や男山でベトナム料理店を
営む方々と協働して企画をつくっています！

地域の皆様のコミュニティ活動拠点となることを目指します。34

6ヶ国語に翻訳した「住まいのQ&A」を制作

Home Q&A Tiếng Việt ベトナム語

Xin chào!

Trang chủ Q&A là tập hợp các câu hỏi và câu trả lời thường gặp.

こんにちは！ Home Q&A は、みなさんからよくある質問と回答をまとめたものです。

1 Xem nhà, dọn vào nhà, trả nhà 内覧、入居・退去

1	Làm thế nào để xem nhà ở trước khi đăng ký hợp đồng chính thức? 内覧（申込んだ住宅内を契約前に見る）はどのようにすればよいですか。	Chúng tôi cho mượn chìa khóa tại văn phòng dịch vụ quản lý của khu vực. Hãy xem nhà trong khoảng 30 phút và trả lại chìa khóa cho văn phòng. 団地内の管理サービス事務所でお部屋の鍵をお渡しますので、概ね30分を目安に案内をご確認後、鍵をご返却ください。
2	Có thể nhờ bạn bè lấy hộ chìa khóa được hay không? 鍵の受取りは、友人等にお譲りしても良いですか？	Trường hợp có người thay mặt lấy chìa khóa, bên cạnh giấy thông báo bàn giao chìa khóa, cần xuất trình thêm giấy tờ xác nhận chính chủ, ví dụ như thẻ ngoại kiều. 鍵は代理の方が受取るときは、URがお渡しする「鍵引渡し通知書」の他に、委任状及び外国人登録証等の本人確認書類が必要となります。
3	Có được mượn chìa khóa trước "ngày có thể vào nhà" (ngày cần đóng tiền nhà) để dọn dẹp hoặc chuyển đồ hay không? 「入居開始可能日」（家賃支払い義務が発生する日）の前に、部屋の清掃や荷物の搬入をしたいので鍵を貸してもらえますか？	Chúng tôi không nhận đưa chìa khóa trước "ngày có thể vào nhà". 契約書に記載された「入居開始可能日」より前に鍵をお渡しすることはできません。
4	Có nên chào hỏi người sống xung quanh khi dọn đến ở hay không? 入居したら、ご近所の方へ挨拶したほうが良いのでしょうか？	Việc chung sống tập thể dễ gây ra tiếng ồn khi sinh hoạt nên việc chào hỏi người sống xung quanh là 1 điều nên làm. Ngoài ra việc quen biết hàng xóm có thể giúp ích cho việc phòng chống sự cố hoặc giúp đỡ nhau khi khó khăn. 集合住宅では生活音の発生もありますので、お隣や下の階の方にはご挨拶をすることは望ましいです。隣居知りになることで、困ったときには助け合える関係を作ること、未然にトラブルを防ぐことにつながります。



Làm thế nào để vứt rác đúng cách?

6ヶ国語に対応した 住まいのQ&AをURと協働で制作

関西大学国際部、京都府国際センターに協力いただき翻訳作業を進め、URコミュニティと協働で団地の生活上の注意点などを6ヶ国語（英・中・韓・ポルトガル・ベトナム・スペイン）でまとめた冊子を制作しました。

まちづくり運動体やってみよう会議の開催



男山やってみよう会議

○毎月第3土曜日開催

自発的・自立的に

男山地域のまちづくりに
関わりたい市民を公募。

○開催の狙い

日常の場（だんだんテラス）

非日常の場（やってみよう）

2つのプラットフォーム
で住民活動を支援する。

防災チームによる防災イベントの企画



障壁破り体験キットをだんだんラボで制作する等楽しみながら「防災」を学べるイベントを企画。

親子で防災大運動会

防災チームが、八幡市市民協働推進課、防災安全課と共催で企画。
11月開催で予定が雨天のため順延し、3月に再度開催を予定しています。

よりみちマルシェの取組み

秋空の下、公園の遊具や広場を利用した催しによりみちし、**多世代**の方が交流しながら楽しく**健幸づくり**に取り組んでもらえる屋外イベントをさくら近隣公園周辺で開催。

さくら公園よりみちマルシェ (市制施行45周年記念イベント)

コンセプト

公園を活用した多世代交流イベント

⇒ さくら公園の地形を利用し、「あそびの場」「催しの場」「語らいの場」の3つの空間を創ることで、多世代の方が自由に交流できる場を提供

開催日：令和4年10月15日（土）

場所：さくら近隣公園周辺

実施内容：子どもの遊び場、健幸測定、手作り市、まちウォーク、カフェスペース 等

主催：八幡市

協力：関西大学団地再編プロジェクト

よりみちマルシェの取組み

イベント会場には、大きなソフトブロックを組み立てて遊ぶ「**イマジネーション・プレイグラウンド**」を設置。子どもたちは、自由な発想でかわいらしいイスやシーソーを作っていました。



ボーンランド Imagination playground で遊ぶ子どもたち



バルーンアートショー



ヨガ教室

やわた人形劇連絡会の「**バルーンアートショー**」やグンゼスポーツによる「**ヨガ教室**」なども実施され、親子連れや高齢者など多くの方が参加されました。

よりみちマルシェの取組み

公園に設置している全長88メートルのうんてい「**モンキーチャレンジ**」では、参加者が進んだ記録の認定証がもらえる催しも開催しました。



モンキーチャレンジに挑戦する参加者



関西大学の学生によるデモンストレーション

この他にも・・・

ポニーのお散歩、手作り市、モルック、まちウォーク、各種健幸測定 etc・・・

さくら公園
よりみち
マルシェ

当日は天候にも恵まれ、**約600人**の方が来場。多くの方のご協力を得て、大盛況を収めることができました。



外国人住民との共生について

(3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立



41

八幡市における外国人住民の現状

八幡市総人口

69,523人

八幡市の外国人住民

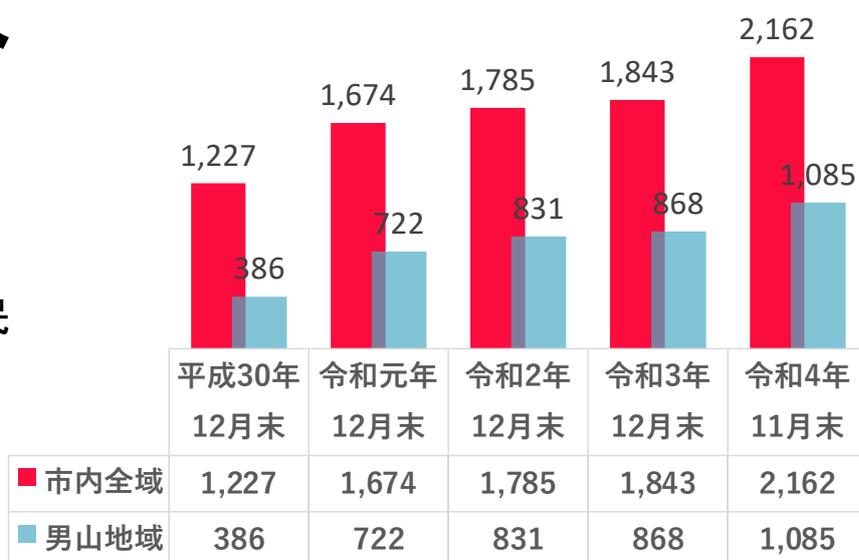
2,162人

男山地域の外国人住民

1,085人

※令和4年11月末

外国人住民人口の推移（単位：人）



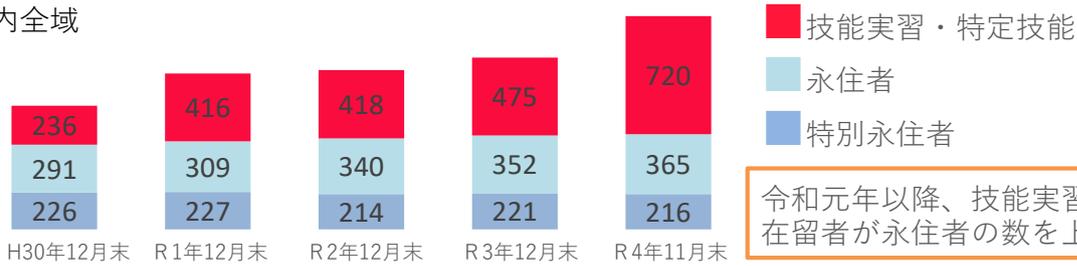
- ・市内企業の技能実習生の受け入れ等により、外国人住民の人口は、年々増加している（総人口の約3.1%）
- ・近年増加している外国人住民の多くは、男山地域に居住

42

八幡市における外国人住民の現状

外国人住民の在留資格別の推移（上位3資格）（単位：人）

市内全域



令和元年以降、技能実習資格での在留者が永住者の数を上回る

外国人住民の国籍別人数（上位5カ国）（単位：人）※令和4年11月末時点

市内全域

国籍	人数
1. ベトナム	804
2. 中国	279
3. 韓国	238
4. ブラジル	141
5. スリランカ	89
八幡市の外国人住民の総数	2,162

男山地域

国籍	人数
1. ベトナム	652
2. ブラジル	82
3. 韓国	60
3. 中国	47
5. インドネシア	41
男山地域の外国人住民の総数	1,085



- ・男山地域には、ベトナム人・ブラジル人をはじめ、様々な国籍や在留資格の外国人が居住

43

生活オリエンテーション・交流会の実施



- ・来日して間もない外国人住民は、知らない場所での不安な生活に加え、言語・文化の違いに起因するトラブルに巻き込まれやすい。
- ・それらのトラブルは、意図して起こしているものではなく、単に知らないだけというケースがほとんどである。
- ・外国人住民にまず日本での生活ルールを学んでいただき、無用なトラブルを避けることで、外国人住民と地域住民が安心して日常生活を送ることができる環境づくりが必要。

外国人受入企業・警察等との連携による生活オリエンテーションの実施

<生活オリエンテーション>

生活ルール（集合住宅での過ごし方）
ごみの捨て方
災害の種類・防災情報の取得方法
自転車での交通ルール 等

<交流会>

日本文化の紹介・体験
地域住民との交流 等

<協力体制>

八幡市 京都府警察 UR
だんだんテラス 受入企業
監理団体 地域住民 ほか

生活ルールや
防災情報の説明



交流会
（日本文化の体験等）



→外国人との共生社会の実現、また外国人受入企業等との協働のモデルケースとして今後も実施予定

44

くらしのそうだん事例集の作成

生活相談の背景

外国人

- ・当人に悪気はなく、日本の文化やルールを知らないだけ
- ・言葉が通じないため、自分の言い分などを説明できない



日本人

- ・外国人に慣れないため、不安を感じている
- ・言葉が通じず、相手のことを知らないため直接話さない

事例集の構成

- ・内 容：外国人受入企業等から事例をいただき、「よくある相談事例」としてとりまとめ。外国人と日本人の心情や、解決方法等をあわせて掲載。
- ・コラム：日本に住む外国人に知っておいてほしいくらしの情報を掲載。（自治会と回覧板、災害と避難所等）
- ・翻 訳：外国人受入企業等にご協力いただき、やさしい日本語の他、英語、ベトナム語、ポルトガル語版を作成。



事例集作成の目的

- ・よくある相談事例と解決方法をまとめ、地域での共生実現の一助とする
- ・住民がお互いのことを知るためのきっかけづくり
- ・連携協議会と外国人受入企業等との協働による地域課題への取組

45

日本語指導ボランティアスキルアップ研修の開催

- ・外国人住民が地域で安心して日常生活を送るためには、外国人住民の日本語学習機会を確保することが重要。
- ・地域ボランティアによる「地域日本語教室」での支援をより充実したものとするため、令和3年度はボランティア養成講座、令和4年度は支援者に対するスキルアップ研修会を開催。

実施日：①令和4年7月30日、②10月15日、

③令和5年2月11日(予定)

場 所：松花堂庭園・美術館 講習室

講 師：京都にほんごRings(※)研修チーム

※京都府内のにほんご教室のネットワーク

内 容：文法、入門学習者への教え方、練習方法 等

受講者：①②22名

協 力：京都府国際センター



日本語指導ボランティア スキルアップ講座

1

7/30 (土)

やさしい日本語
入門学習者への教え方

2

10/15 (土)

動詞文・形容詞文
名詞文の活用
口頭練習の方法

3

2/11 (土)

動詞のグループ分け
形・練習方法

費用：無料

日時：7/30(土) 10/15(土) 2/11(土)
13:30~16:30

会場：松花堂庭園・美術館

対象：日本語指導ボランティアとして活動されている方

定員：25名程度(先着順)

申込期間：(各回期間内の申し込みが必要です)

- ① 7/4(月)~7/15(金)
- ② 9/20(水)~9/30(金)
- ③ 1/16(月)~1/27(金)

八幡市 市民協働推進課
八幡市八幡園内75
075-983-3892
shiminkyou@mb.city.yawata.kyoto.jp

46

男山地域の情報発信

■ **だんだんテラス facebook おひさまテラス facebook**

■ **八幡市役所**

<http://www.city.yawata.kyoto.jp/category/1-23-0-0-0.html>

■ **UR男山団地（特設サイト）**

https://www.ur-net.go.jp/west/case/otokoyama_danchi/index.html

■ **UR男山団地（住宅情報）**

https://www.ur-net.go.jp/chintai/kansai/kyoto/80_1840.html

■ **関西大学戦略的研究基盤団地再編プロジェクト(KSDP内サイト)**

<http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/ksdp/index.html>

■ **京都府政策企画部地域政策室（南部係・府民協働係）**

<https://www.pref.kyoto.jp/chiikikokyo/gakusei/r4.html>